

仙台市立秋保小学校

秋保小学校は今年で創立152周年を迎えました。自然豊かで、全校児童63名が毎日生き生きと学習に励んでいます。



(下)秋保を代表する楯山
秋を探しながら登山をします



(上)縦割清掃の様子



縦割活動、伝統ある秋保の田植踊、楯山登山、温泉学習、稲作、畑作等の経験を積めるのも秋保小ならではの取組なのではないでしょうか。いずれも学校、各家庭、地域の皆様の連携により成り立っています。



校長 角張 康浩



PTA会長 伊藤 恭平

校章



情熱の赤い大東岳、
潔白の心を意味する
白山桜、
健康的なイメージのコバルトの葉
をイメージしており、
躍進する秋保の姿を表しています。



地域の方と一緒に楽しむ学区民運動会



最近では珍しくなった、小学校と地域住民の皆さんが一体となる運動会。玉入れや障害物競走では、こどもも大人も一緒に盛り上がり、競い合い、町内の頂点を目指します。また、未就学児の競走では、地域の体育振興会が主体となり競技を作り上げます。こういった昔ながらの温かい雰囲気がこの地域の宝物です。

受け継がれる伝統

学区民運動会



毎年、高学年が学習発表会で『長袋の田植踊』を披露しています。『長袋の田植踊』を含む『秋保の田植踊』は平成21年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。人々の豊作への祈りが込められた洗練された踊りを、後世へ継承していくための活動が評価されました。以来、平成22年から現在まで、伝統芸能の継承活動を10年以上取り組んでいます。

ユネスコ無形文化遺産 秋保の田植踊

Next 新秋保小

歴史ある今の校舎で過ごす日々を大切にしつつ、馬場小学校と共に作る新生「秋保小」の学校生活が良きものとなるよう心から願っています。



秋保の三つの小学校の校歌は同じです。昭和二十二年に秋保小で校歌を制定しました。その後、湯元小、馬場小が独立する際に秋保小時代の歴史と伝統を共有し、地域の人々の想いや願いを引き継ぐ意味で同じ校歌を制定しました。ことどもたちは慣れ親しんだ校歌を今後も歌い継いでいくことになっています。



馬場小学校との交流
松島での野外活動(上)
大東苑にて福祉を学ぶ様子(下)



秋保小学校は二年後の令和九年度に馬場小学校と統合し、現・秋保中学校の敷地内に移転・新築されます。統合に向けて各学年では、英語や道徳の授業、野外活動などを馬場小と合同で行い、交流を深めています。児童同士もだいふ打ち解け、楽しんでいる姿が見られます。

未来へつなぐ